

令和3年度 南牧村立南牧中学校 学校評価

羅 針 盤		方 策	アンケート結果			改 善 策	
評価対象	評価項目		生徒	保護者	職員		
I 保護者と共通理解を図りながら教育をすすめていますか。	1 生徒の活動の様子を保護者に連絡し理解を得ていますか。	①「学校や子どもの様子が分かる」と保護者の80%以上が答えている。	ア通信、Web ページ等での情報発信を充実させる。 イ南牧テレビを活用し、学校情報の伝達を図る。 ウ保護者の声を聞く機会の充実を図る。	B	A	A	・学校・学年通信の発行、Web ページのこまめな更新を行い、積極的な情報提供を心がける。 ・保護者とのコミュニケーションの機会を大切に、意思疎通を図るようにする。
	2 保護者は学校のことを知ろうとしていますか。	②学校やPTAの諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加している。	ア諸行事にあたって、生徒から保護者に参加を呼びかけるような手だてを考え、行事参加の意識を高める。 イ普段(日常)の授業も参観できることを伝える。	A	A	B	・可能な範囲で、保護者が参加できるような行事内容となるよう工夫する。 ・生徒の活動を Web ページで発信し、学校の活動に興味を持ってもらう。
II 生徒に確かな学力を身に付けていますか。	3 授業の中で生徒一人一人が大切にされていますか。	③「授業が分かる」と80%以上が答えている。 ④生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。	ア ICT 機器の活用を工夫し、学習の個別化を進め、基礎・基本の定着を図る。 イ個性や能力に配慮し、個別指導の充実を図る。 ア生徒が達成感や充実感を得られる授業展開を工夫する。 イ学習過程の共通化「南牧中スタンダード」を徹底し、指導の充実を図る。	A	A	A	・生徒に必要な個別指導を行うため、ICT機器の活用の仕方を工夫する。 ・ICTを用いた授業実践を家庭学習につなげる。
	4 自主的な学習習慣が身に付いていますか。	⑤家庭学習や読書を週平均して1日1時間以上生徒の80%以上が行っている。	ア「南牧中ライフ」を活用し、課題意識を持って家庭学習に取り組ませる。 イ読書への意欲を高め、読書を習慣化させる。	B	B	B	・授業で、めあて、まとめ、振り返りの場面を設定し、生徒自身が学習の成果を感じ取り、主体的な学習に結びつくように支援する。 ・「南牧中ライフ」の記入により、生徒自身に学習課題を確認させ、主体的な家庭学習を促す。 ・読書マラソンや図書紹介により、読書の意欲付けと習慣化を図る。
III 生徒に豊かな心をはぐくんでいますか。	5 いじめのない温かい人間関係を育てていますか。	⑥「いじめの等の悩みがなく、学校生活を過ごしている」と生徒の80%以上が答えている。	ア個々の気持ちを思いやる集団作りに取り組む。 イスクールカウンセラー等と協働し、個々の生徒の心の状態を的確に把握する。	A	A	A	・スクールカウンセラーによる生徒の個人面談により、生徒個々の状態の的確な把握及び早期対応に努める。 ・毎月のアンケート結果について職員間で共通理解を図り、全校体制で対応する。
	6 生徒は時と場に応じた適切な言動を取っていますか。	⑦生徒の80%以上が進んであいさつしている。 ⑧生徒の80%以上が家庭でお手伝いしている。	ア学校外の家庭や地域等でも、挨拶や自立、協調等、社会性をもって生活する気持ちを育む。 イ道徳教育を充実し、勤労意欲の向上を図る。 イ家族の一員としての自覚が高まるような場の設定を保護者と連携して考える。	A	A	B	・自分のことは自分でする習慣が身につくよう、家庭と連携し、指導していく。 ・道徳教育の勤労に関する授業や生活指導の充実を通して、家族の一員としての役割を考え、進んでお手伝いに取り組めるようにする。
IV 生徒の健康づくりに努めていますか。	7 生徒は基本的な生活習慣を身に付け健康の保持・増進に努めていますか。	⑨生徒の80%以上が朝食をとっている。 ⑩一日6時間以上の睡眠時間を生徒の80%以上がとっている。	アバランスの良い食生活を生徒自身が考えていけるよう指導の充実を図る。 イ生活習慣チェックシートを活用し、睡眠の重要性と時間の使い方の指導を充実させる。	A	A	A	・栄養士、養護教諭による食育指導や保健指導、通信を通しての啓発活動を継続していく。 ・生活習慣チェックシートを活用し、生徒の生活習慣改善にむけた意識を高める。
	8 生徒は日常生活の中で運動に親しんでいますか。	⑪運動(部活動を含む)や地域のスポーツ活動などに生徒の80%以上が取り組んでいる。	ア3年間を見据えた保健体育の教育課程を編成し、体力を高める指導を充実させる。 イ部活動の充実を図り、スポーツに親しませる。	B	A	A	・部活動・保健体育に限らず、運動に親しむ機会を設ける。 ・健康、安全面に注意を払った部活指導を継続していく。
V 生徒の安全確保を図っていますか。	9 施設・設備の安全管理や危機管理を徹底していますか。	⑫学校は安全(危機)管理マニュアルを確認して、シミュレーションを年2回以上実施している。	ア災害等の状況にあった避難方法や危険回避が各自できるよう日々の安全教育を充実し、実践的な避難訓練を行う。 イ安全点検の定例実施により、安全確保を図る。	B	A	A	・非通知の避難訓練を実施するなど、発生が予想される災害に対して生徒が自分で自分の身を守る行動がとれるよう、より実践的な安全学習を行う。 ・毎月の安全点検結果をもとに、施設の安全確保に努めるとともに、安全に関わる情報を職員間で共通理解し、全校体制で生徒の安全に努める。
	10 交通事故や不審者への対策を十分にとっていますか。	⑬学校は地域の諸機関と年2回以上協議し、地区内の危険個所の対応策をとっている。	ア自転車保険の加入確認をするとともに、交通安全指導を充実させる。 イ不審者対策マニュアルの周知・改善を図る。	A	A	A	・校区内のパトロールを定期的に実施し、通学路の安全チェックを行い、要注意箇所等の情報の共有化を図る。 ・不審者対応の訓練を実施するとともに、身の守り方を学ぶ機会を持つ。
VI 生徒が自ら進路選択できるよう支援していますか。	11 進路についての学習や指導態勢を改善・充実していますか。	⑭学級活動における進路学習や啓発的な体験活動を通して生徒の80%以上が自己の生き方を考えている。	アふるさと朝礼を通じて、社会生活や職業生活における進路学習の有用性を認識させる。 イ外部講師の積極的な活用や体験的な活動を推進し、キャリア教育の充実を図る。	A	B	A	・将来について考える機会を年間を通じて設け、進路選択への意識を高める。 ・定期的な福祉ボランティア活動を通じて、仕事に対するやり甲斐を感じることでできる機会を数多く持たせる。
	12 生徒は将来の夢や希望を持っていますか。	⑮将来の夢や希望する進路について生徒の80%以上が親子で年2回以上話し合っている。	ア向上の記録や通知表、通信等により、進路について話し合いが家庭で進むよう手だてを工夫する。	B	B	B	・3年間を通じた計画的な進路指導を実施する。 ・生徒と保護者との話し合いが家庭で持てるように、向上の記録や通知表を渡すタイミングで定期的に働きかけを行う。
VII 学校教育目標	13 「進んで学習や読書に取り組む生徒」になってきていると思いますか。	⑯「進んで学習や読書に取り組む生徒」と80%以上が答えている。	ア「南牧中ライフ」を活用して、授業を振り返りながら自発的な家庭学習が進むような個別の学習スタイルを構築する支援を行う。 イ読書への意欲を高め、読書習慣の形成を図る。	B	A	A	・「南牧中ライフ」の記入事項の改善を図るとともに活用の仕方を伝え、家庭学習の自発性が高まるようにする。 ・読み聞かせ、読書マラソン等の機会を設け、読書への関心を高める。 ・生徒の興味関心に即した選書により新しい本を購入し、本への親しみを増やす。
	14 「互いに認め合い、協力する生徒」になってきていると思いますか。	⑰「互いに認め合い、協力する生徒」と80%以上が答えている。	ア生徒一人一人が尊重され、自己存在感や有用感が実感できるような活動を実施する。 イさわやかホームでのボランティア活動等を通じて、思いやりや協調性を育む。	B	A	B	・Web ページや各通信を通して、生徒の活躍を積極的に伝えることで、生徒自身が自己存在感や有用感を持てるようにする。 ・定期的な福祉ボランティア活動を通じて、協力したり思いやりを持って取り組んだりすることの大切さを考えさせる。
	15 「目標に向かって粘り強く努力する生徒」になってきていると思いますか。	⑱「目標に向かって粘り強く努力する生徒」と80%以上が答えている。	ア生徒が自己の進路に希望を持ち、その実現に向けた取組が継続できるよう、支援し励ます。 イ学習や部活動で自分なりの目標を持たせ、達成への道筋や手だてを考える手助けをする。	B	A	A	・個に応じた指導を通して、生徒自身が自分の将来を展望しつつ現時点での具体的な目標の達成に向けて努力が継続できるよう支援する。 ・キャリア教育を計画的に実施し、目標に向けて取り組むべき事を考える経験を積ませる。
	16 「ふるさとに誇りをもち大切にしている生徒」になってきていると思いますか。	⑲「ふるさとに誇りをもち大切にしている生徒」と80%以上が答えている。	ア地域の自然や文化に目を向けてそのよさを実感できるような体験を学習活動に取り入れる。 イ知ったよさを他の人に伝えるための表現力や発信力を育む。	A	B	A	・生徒の興味関心を高め、地域のよさに目が向くような内容・題材を、授業やふるさと朝礼等で取り上げる。 ・学んだことをまとめて発表したり、話を聞いた感想を発表したりする経験を積ませる。

※アンケート結果 A：80%以上 B：60%以上 C：50%以下